

歌枕之卷

聞書
全

和装本

ケ 5

44

132





ケ

歌枕之卷

口授書

此書ハ馬道具ノ其銘ヲ拳テ知書也
 故ニ書ヲ見テハ物々ノ其名所ヲ
 知ルト云心ニテ歌ト云ル文字ハ置タ
 ル也亦枕ハ身ヲハナサスモテ扱モ
 ノナルカユヘニ秘藏スルト云心ヲ此ノ
 書ニ依テ其一切ノ馬具ノ名ヲ知ル
 ハ甚調法ノ書ナルカユヘニ是ヲ歌枕
 之卷トハ題号ヲ置タル也

清少納言枕草紙ト云モ大切
 成ト云也

。諺 = 歌人ハ居ナカラ名所ヲ
知ト云如ク其名所ヲ知ルト
云也

策

。是ハ上古ニハ木中古ハ竹其後
物々ニ依テ其策之品ヲ分
ツクル也アリト知ルヘシ

今此策ハ竹ノ策ノナリ名ヲ
拳タルガユヘニ此策ノ字ニ作テ

其名ヲアラハスモノ也是ヲ器
物ノ初ニ置ク也ハ策ハ武ノ重

器ナリ又馭武ノ道策ニツカ
ヌルガユヘニ策ヲツカヌルトハ

讀セタル也又將タル人是ヲ
取テ勝利ノユ夫ヲハナスカ

ユヘニ兵策ト云トキモ策ノ
変ナリ又兵杖ニ策ヲ云也

又策ヲ謀ニヨメリ此策ヲ
取テ天下ニ人ナク又天下

ニ馬ナシト云ヘル古人ノ言モ
アリト知ルヘシ

日之先

キトハ劔頭ノ変ヲ云ナリ
策ハ日ノ御靈化メ三代ノ杖

トナル兵杖ノ本是也舊事
本記等ニモ此爰出タリ故
ニ策ノ先ハ日ノ先ト云フ太
白破軍星及金神ニ向フト
云凡此ノ日。劔ヲ向ヘテ行ケハ
其難ナシ日出テハ太白破軍
ノ勢モ則隠レ失ルモノ也日
ハ火ニ作ルト云々周牌ト云
ル書ニ日ハ火也ト註スル火ヲ
以テ金ハトロケノクガユヘニ
金神ヲモ忌ム爰ナシ是日
ノ先キナルガユヘニ劔頭ト云
劔頭ハ日劔ノ事也吹毛ノ
劔ノ如佛来レハ則消滅ス惡
魔来レハ則消滅ス依此劔ニ
向フトキハ善惡無差別消滅
スルガユヘニ其劔先ニ依怙ナ
シト知ヘシ故ニ常ニ其劔先
ヲ親キモノノ方ヘ向ス又心
ガ、リノ方ニ向ヘルナリ依之
日ノ先劔頭トハ号モノ也

切詰ノ節

是ハ已ガ長計ニ合セテ三十
三節ニクテハ其所ヨリ切
捨ルカユヘニコレヲ切誥ノ節
トハ号ル也

水流シノ節トハ

切誥ノ節ヨリ十目ノ節ノ下
ナリ十ハ一ニ飯ル一ハ水ヲ主ル
ユヘニ水流ノ節トハ号ナリ
又野草ヲ行トキ葉未ノ露
其節ニアタツテコホル、処ニ
アル節ナルカユヘニ水流ノ節

トハ号ル也云ナリ又大中ノ
節トハ云フトハ握ハ帯ノ内ニカ
ク身ヨリヲハナレテ外ヨリ
見ユル処ノ策ノ節ノ真中ニ
見ユル節ナルカユヘニ大中之
節トハ号ル也

水留之節

是ハ水流ノ節ノ五ツメニ有
節也水コボレテ地ニツク五
地ノ数也上ノ水流ノ節ニ
テ露コボレテ其節ニテ留

水留ノ節
ラシヤト云心ニテ水留ノ節
トハ号也手ノ中ノ節凡云
変ハ手ヲ後ニヤリテヌカン
トスルニ其中ニアル節ナルガ
ユヘニ号ル也

袖摺レノ節

是ハ己カ袖ノサワル処ニアル
ユヘニ其名トス

縫留ノ革

是ハ一節ニテキツシリトヌビ
トメテ握ヲ堅ルガユヘニヌビ

取柄或七寸皮トモ云也

是ハ七寸革握七寸皮也握ハ
ツカ子ルト云心也此七寸皮ヲ
定ル変ハ天笠ニ穿ト云フ虫
アリ其長七寸是ヨリシテ策
ノ彙リトハスル変也内藤小
笠原ノ説ニモアルカ故ニ七寸
ニハ定ル也當流ニテハ七ハ一尺
ノ寸凡スル一ナルユヘニ尺ノ始
メノ物子ヘニ七寸ニ定ル故ニ取

鴨霧鳥結

柄ノ皮モ七寸皮凡云フナリ

是ハ策紐ヲカケテ一ノ節ノ

所ニテキツシリトシムル所

ヲ指テ云也鴨サキト云フ

兩鳥凡ニ水ヲ能ククニルガ

如ク此結ハ策紐ノ間ヲク

バツテヨクシムルガ故ニ其名

トス此名甲陽軍ノ策ノ処

小手掛煩惱緒抜入凡云

是ハ手ニカクルユヘニ其名トス

煩惱トハ俗ニ思ニ切ノ思キ

ラレサル更ニサレテ煩惱

トハ云也策ヲ取テ打シヤ

打マシキヤト煩惱スル緒ナ

ルガユヘニ其号トス抜入トモ

云トハ腕ヲヌキ入ルガ故也

桑子結

是ハ桑ト云フ木ノ實ノ如ク

ムスブコトナルカユヘニ其名

トスルモノ也

露

。是ハ其桑ノ子ノムスヒノ末ノ
端レノ出タル糸ヲ指テ云也
露ハ葉末ニ置クト云フ心ニテ
其名トス

合目

。是ハ釵先キノ陽頭ヲ右ニシテ
鴨露鳥ノシムル方へ皮ヲ合テ
又フガユヘニコレヲ合目トハスルニ
是ハ取柄ノ縫始メニ又ヒ出ス

離先

所ナルカユヘニ物ノ始ウツク
シキヲ離ト云フ又離鶴十
ト、云フ心ノゴトク又ヒ始メ
策ノ本又入ノ先ツ取テ見

合

ル所ナルガユヘニウツクシク
又ヒ始ルガユヘニヒナサキト云ニ

鞍前輪

。是ハ鞍ハ人ノ居ルト云心ニテク
ラトハ号ク古ヘノ人居ル処ヲ
天ノ岩倉トハ云フ也草ニ安ヲ
作ル麦ハ安ハヨルトヨマスル
人コレニ居ルト云心ニテクラ
トハ号ルコトナリ前輪ト云フ
麦ハ龍馬ノ巻ニ車輪ヲ表ノ

鞍蓋

前輪ノ鞍トスルト云故實アルカユヘニ前輪後輪トハ号一ニ小山取共云

海

塩合満

是ハ夕カキト云心ナリ又小山取云コト山ノ如ク夕カキガユヘニ其名トス
是ハ山取ノ下ノサクレメアルガユヘニ山ノ下ハ海ナラント云心ニテ海トハ号ル也
是ハ磯ト海トノ境目ノ筋ヲ指テ云也塩合満合ハ夕ヘテ其筋アルガユヘニ其名トスルナリ

塩請露

磯或閑

是ハ海ノ直中ヲサシテ云也中ニハ塩ヲモ請露モ夕マラシト云心ニテ其名トス
是ハ磯ハ鰐口ノ上海ノ下平カナル所ヲサシテ云也上ハ山中ハ海其所ハ平ニ夕カキ

ガユヘニ礮トハ号ル也関ト云
モ海ヨリタカキユヘニ海ヲセ
クト云フ心ニテ号ル也

命助

是ハ前輪ノ中ノ所ヲ五分
クボカニカシナヲカケテト
ルコレヲ指テ云也其所ニツ
ツロキナケレハ衆人ノ陰囊
ヲ打カ故ニクホカニスルナリ
其命ヲ助ル心ニテ命助ト
ハ号ル也

手掛

是ハ左ヲ指テ云是ヲ切テ
ヲクテ一人乗リ下リスル
時宜キ也古昔保元ノ戦ニ
義朝ノ臣鎌田兵衛政清ガ
故實ニ依テ其名トスルナリ
又右ヲ手掛ト号ルテ左計
ニテハ見ツルシク又戦終テ
左ヨリモ乗リ下リスルコト
アルカユヘニ左ノ手掛ヲ写シ
テ右ノ方ニモ其形ニ切ルカ
ユヘニ右ヲ手掛ト号ル也
是ハ手掛ノ上下ノクリ

待

是ハ手掛ノ上下ノクリ

ノ中ノスギ立タル高キ処ヲ
云左右相兼タルヲ待トスル
カ故ニ其名トスルナリ
鰐口見入共洲濱歟クリコミ也

是ハ鰐ノ口ノ歟ニヤ似ヌラン
ト云フ心見入ニ云トハ向ヨリ鞍
ヲ見入ル、カユヘニ云洲濱歟
トハ鞍ヲハツシテ切付ヲ付
サル鞍ヲ見ルトキハ洲濱歟
ト云ル古ノ菓子ノ歟ニ似タ
ルガ故ニ其名トスルナリ又
クリ込トハ深ク線込タルト
云フ心ナリ

塩流或水流共

是ハ手取ノ下海ヨリ通
タルサクレメナリ下へ流レ
キタルカユヘニ塩流シトハ号
ル又塩モ水ナルカ故ニ水流
シトモ号ル也

切組

是ハ居木ヲ前輪ニ切組所
ナルカ故ニ其名トスル也

塩手付。是ハ塩手ヲ付ル処ナルカ故ニ

號ルナリ

雉子股或裏切付共

。是ハ雉子ノ股ニ似タルカ故ニ

其名トス裏切付ト名付ル

トハ切付ヲ雉子股ノ裏ニ

テ押ルカ故ニ云也

馬粹馬層共

。是ハ左右ノ瓜間ナリ馬ヲハ

サムカ故ニ其名トスルナリ又

鞍ハカリヲイテハ馬ノ肌ヲ

粹ガ故ニ馬肌云フナリ

ナレメ。是ハ瓜ノハツレ切捨ノ所ナリ

ナレタルトハ出タルト云心也

出タル所ヨリ瓜ヲキルカ故

ニ其名トスル也

鞍後輪名所前輪同断

天山取惣テ後山取ヲハツタリト云也

請ノ木共云

。是ハ後輪ノ山取ノ高キ処ヲ云

ナリ前輪ヨリ山取大キニ作ル

カユヘニ大山取トハ云也。是ニ天

山ト文字ヲスヘタル心ハ馬ノ

百會ノ処ヲ三山骨又三峯骨
ト云其上ニ見ユル山形ナルガ
故ニ山ノ上ニ又アル山ト云心
ニテ天山ノ山ニヤアラント云
語ノ本心ニテ天山ト文字ヲ置テ
天山形トハ訓タル也ベツタリ
ト云フ後ハ伏サセタルコト
大ナルカユヘニ前輪ヨリハ後
エベツタリト伏シタルト云心
ニテ云也請ノ木ト云トハ請テ
伏シタルト云心也

一ノコウニノコウ

是ハ居木ヲ切組ノ上ニ有処
ナリハツレテ見レハ其所高
クナリ出タルカ故ニ甲トハ
名付ルナリコウハ甲ニ作り
テ高キト云心也
是ハ居木ヨリシメ合スル宛ノ
物付ノ宛

是ハ右ノ後ノ塩手ヲ付ル宛也
於戰場着ヲ討タルトキ旗母衣

ナトニ着ヲ包ニテ付ル所ナル
カ故ニ物付ト号ク其所ノ穴
成カ故ニ其名トスル也

捕付ノ穴

是ハ左ノ後ノ塩手ヲ付ル穴也
コレモ又首取テ先付ルカ故ニ
其名トハスルモノ也

折レ目。是ハ曲リノ上ノ方ノマカリタル

処ヲ指テ折レ目トハ云也曲ツテ

見ユルハ折ル心ナルカユヘニ其

名トハスルモノ也

マカリ。是ハ折目ノ下外ハノ方ヘツヨ

クマカリタル所ナルカユヘ

イコミノ爪。其名トハスルモノ也

是ハ後ノ内ノ方也イコシテ

アルカ故ニ其名トハスル也

内ノ爪サキ。是ハ下ニ成方ヲサシテ云也

鞍居木

。居木ノ説先書ニ説ルカ故ニ

爰略ス

小笠原ニハ油木氏乗人ノアフラト云

内藤ニハユヅノ木ト云

當流ニテハ鞍ハヨルノ訓ニヘ

居木ヲ用テ居ルトナリ

西行傳ニ伊木ト

切組 是ハ鞍ノアト切組合スルカユ

ヘニ其名トハスルモノ也

緒付ノ穴

是ハ居木ヲ付ルノ穴也其穴

ヲ蟻通ト云夏ハ殊ノ外其

穴ヲ六カシクヨリタルガユヘニ

蟻ノ細腰ニ糸ヲ付テ通ス

ヘキ物ノホトニヨリタルト云

居木ノ心ニテ蟻通トハ号ル也

居木先

是ハ鞍ヨリ前へ居木ノサキ

出タル処ヲ指テ云也

緒付ノ穴

是ハ塩手ノ緒ヲ付ルカ故ニ

其名トス前ノ緒付ノ穴ニハ

アラズ

切穴八目ノ穴澗穴共云

。是ハ切穴ハ文字誤レリ錐穴
ナリ是ヲ八ツ目ノ穴ト云ハ
左右ノ居木前後穴合シテ
八ツ有カ故也ウヅ穴ト云フモ
スキ通ツテヤ見ヘント云フ
心ニテ云也

居木ノ間乘間

。是ハシバリタル鞍ノトキ斗
リ云名所也ホクセハ居木
間ハナルカ故ニ其名ヲ不呼
乘間トハ其所ニマタカリ乘

小觶形

。是ハ塩手付ノ処ヨリ少シ
クリタル所ヲ指テ云也

大觶形。是ハ後ノ方ハフカククリタ

ルカユヘニ云也

ハラミ。是ハ前ヲ小タリ形ニシテ後

ヲ大タリ形ニナスカ故ニ中ハ

フクレハラム故ニ孕トハ号也

切付スレ

。是ハ居木ノ上ノ内ノ方ヲ指テ

云ナリ

カ草抜ノ穴

是ハ名ノ心ナリ

居木下是ハ居木ノ裏ヲ云也

甲^ニ是ハ居木ノ上中ホトヲ云也

フ子^ニ是ハ居木ノ前後ノ輪ニ取付

ル所ニ面ヲ取ル所也其面ヲ

指テフ子トハ云也フ子ハ端

ト云心ト知ルヘキ也

搦穴鞅縛ノ糸懸ヲ云

是ハ居木ヲ仕付ル穴也又鞅

シバリノ緒カケヲ云ヘ凡直名

依テ知ルヘシ

物付ノ穴

是ハ物付ヲツケル穴也コレヲ

蟻通ノ説ハ非也搦ノ穴ノ

ト知ルヘシ

捕付ノ穴蟻通共云

是ハ蟻通又アヤマレリカラ

ミ穴也是又アヤマレリ

ト知ルヘシ然レモカラミノ

穴ニ添テ其中ヨリ通シテ

蟻通ノ穴ト一ツニ捕付物付
ノ穴ハヨルカユヘニ蟻通ノ穴ニ
搦ノ穴ニ云テ苦シカラス搦
ノ穴ハ居木ヲシハリツクルニ
八重ニ系ヲ取ルカ故ニカラミ
ノ穴トハスルモノ也

居木二ノ間

是ハカ草ノ穴ノ中ホトヨリ
左右ヘワタル処ヲ居木間ト
ハ云前ハツマリ後ハ居木延
テ作ルモノ也故ニ後ノ切目ノ

鐙

穴ノ前ノ穴ヲ処ヨリワタリタ
ル処ヲ指テ居木二ノ間トハ云
物ナリ居木ノ間ノ次ナルカ故
ニノ間トハ号ルモノ也
是ハアブミハアホルノ心ニシテ
アフミトハ訓スルナリ漢ニ上
古ニ鞞ニ作ル後鐙ニ作ル文
字ノ心ニ依テ知ルヘシ

鞞 踏金 鉸具頭

是ハ鐙ヲ踏ムニ此ノ金ヨリ
足下テ踏カユヘニ踏金ト文

字ヲ疊テ鞞踏金トス小笠
原内藤ニハ肥當金ニ作ル肥
タル人ハ此金ニ足アタルト云
心ニテ云也 鉸具ハ文字心也
水尾金有繫カ金菩薩金一命金
十ト、共云也

是ハカ皮ノ穴ヲ通シ行カ
故ニ其名トス水ハ一滴ノ穴
ヨリモレ行カ故ニ穴ヲ通ス
金ナルニヨリテ水ヲ間金ト
号ル也 有繫糸トハ細キ内五入

下番

ルヲ指テサスカトハ号ルモノ
ナリ此金ニカケテ鐙ノ重キ
輕キヲ定ルナリ古キ歌ニ武
藏アツミサスカニカケテト
ヨメルモ此名所ヲ云ナリ
又菩薩金ノコトハ水尾金
別号ト云ヘモサニハアラス
是ハ水尾金ノ下番ノ穴ノ
中ヲ通シユク其金ハ針ノ
如シ其針ノ如クアル安サキ
モノカ大肥滿ノ男ノフミ象

リテモソシゼザル如クアル
モノニシテ人ヲタスクルノ
金其上鑿惣体ヲニナヒタ
スクル金ナルカ故ニ是ヲ著
薩ノ人ヲタスクルカ如アル
モノナリトテホサハツ金ト
ハ号ル也此金ニテ人モタス
カリアフミモタスケツク然
ルユヘニ又一命金トモ号ル
トハ知ヘシニヤ

丁番

是ハ文字ノ心ナリ両方ヨリ
ヨク合テ又クツロクカ故ニ
丁ト番テ宜キカ故ニチヤウ
ツカイトハ号ル也

シヤク

是ハ押取ノ上ノカタノクホ
カナル処ヲサシテシヤクニ
トハ名ツクル也シヤクニハ
中クボヲ指テ云ナリ凹ノ文
字ニ作其形ノ如クナルカ故
ニ其名トス

透紋取葉本水通共

是ハ押取ノ所ニスカシヲナ
 スカ故ニ其名トススカストハ
 間ハスキマノ変ナリ故ニス
 カシトハ号ル也是ハ鑑ノ重
 ミヲヌカントノ義ナリ紋取
 凡云コトハ其アフミ人作者ノ
 紋ヲコシラエ入ル所ナルカ故
 ニ其号トス又葉本ト号ル
 モ其処エ木ノ枝葉ヲ作者ノ
 印ニ付ル所ナル故ニ葉本ト
 ハ云フナリ水通トモ云変ハ
 透シアラバ川渡リノトキニ
 水ハ通リ行カント云心ニテ
 水通シトハ号ル也

押取渡 共

是ハ鑑ヲカ草ニカクル取ニ其処
 ヲツトリテニキル所ナルカ故
 ニツトリトハ名ツクルナリワ
 タリ凡云トハアフミヲオサユル
 時其ヲツトリヘ行手ノ右ヲワタ
 シ左リニテ舌崎ヲサヘテ貴
 人ヲハ衆スルモノナルカ故ニ

渡リに云々也

母衣付ノ穴

是ハ母衣武者川越ノ取ニ此穴へ
母衣ノ紐ヲ付ル支アルカユヘニ
其号トス

日當金是ハ鐙ノ鼻ノ上ナルカ故ニ日當

ノ金トハ名付ル也鼻ノ上ヲヒ
タイト云ハ日ニ向フ臺ナルユヘ
ノ名也故ニ額ト訓ヲ付ルモノ

ナリ是モ鐙ノ鼻ノ上ノ高キ処
ナルカ故ニ日當ノ金トハスル物也

弓鞞ノ筋波分水切共

是ハ鳩胸ノ真中通リ堅スナラ
指テ云也弓ノ鞞ノ如ク曲リテア
ルモノナルカ故ニ弓鞞ノ筋ト号
ルナリ又波分水切トハ河水ヲワ
タストキ鐙ノ鼻ニテ波ヲ分水
ヲ切テ行カ故ニ其筋ヲサシテ
波分水切ト号ル也

鳩胸 但向ナリ出タル処ヲ鳩胸云

是ハ鳩ノム子ノ如ク向ヘナリ出
タルユヘニ其名トス

谷

是ハ鳩胸ト肥滿ト其間ノ引込
クホカナル処ヲ谷ト云カ故ニ其
名トハスルモノ也

肥滿

是ハ鳩胸ノ左右ヒラキワカレタ
ル処ヲ指テエミト云俗ニエミ出
タルトハ肥滿テジユクシタル
心ヲ云也

肥滿脇

是ハエミノワキナルカ故ニ云也

日ノ下

是ハ鐙ノ下ハ日ノアタラサレ

踏^ヤ 踏^カ 受^カ

故ニ云也

是ハ柳葉ニ作ルユヘニ上ノ文字

ニヤナイハノ訓ハクダシタルモノ

ナリ鐙ノ縁ヲ指テヤナイハトハ

云柳ノ葉ハホソク長クユクモ

ノナルカ故ニ其形子ニ似タルヲ

以テ其名トハスルモノナリ又一

説ニ鐙ハ杏ト云杏ハ鞞ニ用鞞ハ

其ノ暮ヲ称羨ス柳ハ其ノ季

ナルカ故ニ杏ニ踏金ナルヲ以テ

ヤナイハトハ号ト云説モ又右

ノ心也受縁ト云ハ衆人ノ杏ヲ

受テ行縁ノ金ナルカユヘニ其
名トス

沓入踏込共

是ハ鐙ノ奥也ヲクナラハ沓入
ルト云心ニシテ其名トス沓込ト
云モ沓ヲ込ハ沓入ント云心ニメ
沓入凡沓込凡云也

踏付沓置共

是ハ古先キノ方跟ヲ踏付ル処
ナルカ故ニ其名トス踏付ニハ沓ハ
其処ニアラント云心ニシテ沓置
凡云ナリ

四羊

是ハ四ツ羊分ト云心也鐙ノ古
先ノ角也左右鐙合セテ其角
四ツ行ハニツニナルカ故ニ四羊ト
ハ其所ヲ号ルナリ

一文字舌崎共

是ハ古先ノ上ノ方ノフチヲ
指テ云其形一文字ナルカ故
ニ其名トス舌先凡云トハ誤レ
リ舌崎ハ後ノ方ノ惣名也舌ノ
サキノ如クアルカ故ニ其名トス

鐙 鞘頭

是ハ肥當金ノ替名也。鞘ノ及
ノ如ク丸クナリ出タルユヘニ其
名トス

ニツ頭

是ハ押取へ行処ノ肥當金ノス
リ付ノ境ノ上下ヲ指テニツ
ハトハ云ナリ

猿尾

是ハ押取ノ先キ母衣付ノ
穴ノサキヲ指テ猿尾トハ
云也。短キト云心也。内藤流
ニテハ鷹鳥頭ト号ル也

四半

クビリホウノ平

是ハ押取ノ付根ヲ指テ云

天龍

ナリクビリ少シ金出テ平
カナルカ故ニ頬ノ膏出テ平
ナルカ如クアルモノナルニヨリ
テクビレホウノ平トハ号也

山形

是ハ押取ノ付ル処ノ左右ノ
丸クイカリタル処ヲ指テ
山ニ准ヘ其形ニ取テ山形トハ
号ル也

太刀請

太刀流

是ハ歩行武者ノ打太カハ
ヒラケハ己カ草摺ハツレヲ
ノカレ其処ニ太カヲ請テ歌
ノ太カハ折レ損スル一有モ
ノ也故ニ太カヲ請テ則鶴翼
ニ披テ行モノナルカ故ニ太カ
請太カ流トハ号ルモノ也

泥請

是ハ鐙ノ下ノ惣名ヲ云馬
足ニテ蹴立ル泥其処ニカ、
ルガユヘニ泥請トハ号ル也

鉸具

先是ハ馬ヲサソウトキ
ニテ打カ故ニ其名トス
鐙ノ前

垂尾

是ハ雨雪ノ時鐙ノ内ノ雪水
其穴ヨリタリ滴テヌク
故ニ垂尾ノ穴ト号ル也露ヌ
キト云モ水ヲヌク心也

障泥

摺責合ノ金共云
是ハ障泥ト摺合処ナルカ故
ニ其名トス摺レ合カ如クアラ
ハ責合ト云心テ責合ノ金
也云也

泥流

是ハ前ニ泥ヲ請テ後ノヒクキ
方古先ノ下ニ泥ハ流レ行カ故ニ
其所ヲ泥流シトハ号ルモノ也

鉸具後

是ハアトノ角ノ少シ前ノ方
ヲ指テ云也

漚

是ハ馬ノ心ヲクツコムルカユヘニ
クツワトハ号ル也久津輪ニ作
ルナリ

地藏頭

ニツ頭啗先啣鉄共
是ハ丸キト云俗ノ言ヲ用テ

云ナリニツカトハ女ハミ男ハミノ
頭ヲ指テ云也ハミサキトハニツ
カハハミノ先ナルカ故ニ其名トス
又啣鉄凡云変ハ舌ノ真中ニ
此所アタルユヘ口ノ中ニアル
其物ヲ指テ啣ムト云故ニフリ
ミ金ト云也此漚鉄ニテ作ル
上古ハ木ニテ作ル木漚ト云
是也又御ノ字ハ啣ムノ字ヨ
リ出テ御ヲノルトハ訓シ漢ニ

御者ト云是也

淡出シ息出番ノ穴共云

是ハ馬ハ膽ノ腑ナキカ故ニ淡
ヲカム故ニ其淡ヲ口ノ内ニ吐
出スノ嚙ノ穴ナルカ故ニ淡出
シト号ル也息出凡号ル変
ハ馬ニ嚙ヲカクル取此息出
シノ穴ヲ考テ春秋ニ其
差別有変也故ニ息出シノ
穴凡号ル也番ノ穴トハ女ハミ
男ハミ其処ニテツガフカ故ニ
其名トス

左ノ鎖

是ハ男ハミノクサリノ変ナリ

右ノ鎖

是ハ女ハミノクサリ也故ニ女

丁番

是ハ子ヤウツカヒハ蝶番也

左右合テハミノクサリタル処
ナリ又鷹ノカヒト云ハ左右ノ
クサリハミサキノ子ヤウツカヒ
雁ノ足ノ節ノクサリタルガ
如クアルモノナルカ故ニ其名トス

又組違^氏或クサリトモトハ
文字ノ心ニテ知ルヘシ

渡リ

是ハクツツハミヨリ淡出シノ其間
ワタル金ナルカ故ニ其名トス

鏡

是ハ唐ノワタリノ惣体ヲ指テ
云合トモ云ヘシ枚^ダヲ合ノ口ニ

合ノ心

屈身

是ハハミノ付タル罐ノスリ付
ノ際ヲ云也其罐マカリタル処

式ノ鏡

ヲ口ノ際ニハムト云心也クツツハミ
ヲ邊メ責^ツ戦ト云ヘルモ此処ノ

莫^クヲサシテ云也

屈身

是ハクツツハミノ罐屈カ故ニ屈ム
モノハ及ルソルモノハ照ルト云照

テハカ、ヤクト云心ニテ屈ヲ又

鏡ノ字ニ作^氏知ルヘシ

日當ノ金

是ハ左ノ鑣ノ罐ヲ指テ云也

左ハ陽罐ハ屈ミ及ルカ故ニ及

ルモノハ照故ニ日當ノ金ト云

日陰ノ金

是ハ右ノハミノ罐ヲ指テ云

左リ罐ヲ表日當ノ金ト云
故ニ是ニタイシテ右ノ罐ヲ
裏トメ日陰ノ罐トハナスモ
ノナリ

橋金トハ凡ニ惣名云也

是ハ十文字ニ作テ鯨口ノ
カ、リタル惣体ノ嚙ノ左右
ヲ定ル金ヲ指テ云也其形
橋ト云木ノ實ヲ切テワリ
タル形ニ似タルカ故ニ其名
トスル也

立聞ノ輪 鯨口共云

是ハ立聞ノ輪ト名付ル夏ハ立
聞ノ總付カユヘ也鯨口トハ鯨
ノ口ヲノカルト云災難ヲ除ク
心ニテ兩部習合ニハ社檀ニ鯨
口ト云モノヲ鉤ス其物打ハ
鳴ルナリ此金ヲ以テ嚙ノヒ
キキ鳴リヲ出ス此ノ金ノ口ヲ
トムルトキハ嚙ナラサルナリ
故ニ鳴ル金ナルカ故ニ鯨口ト
号ル也又ワニクナラハヒ

キノ輪ハ号クヘシ輪ハマクル
ト云心也 卿音金ノ其取リマカ
リテアル故ニ卿音ノ輪ハ云也
總カラム搦ハ云ハ助ノフサカラム
カ故也然レハ羈ハ口ノスリ付ノ
際ヲサシテ云ト知ルヘシ此処ニ
同銘ニコレアレハサニハアラス
又羈付トハ古來ハ手助ノフ
サヲ入ズ面懸ノフサニテ取
付タルカ故ニヲモガラムハ
云也又手助ノ輪ト云モ手助
ヲ仕付ルカ故也

音口

是ハ羈口ノ合セノヲ指テ云フ
此所ヲフサリハナラフスアクリ
バ則ナルカ故ニ音口トハ云也

小鏡

是ハ鏡ヲスリミカイテ少キ
所カ、ヤクカ如クアルモノナ
ルカ故ニ小鏡ト云其処ヘヤス
リヲスリヨセテ仕立ノスリ
トメ成故ニ小鏡ノ所ヲスリ
トメハ云也

銘

是ハ右ハ彙人ノ銘ヲ記シ左ハ
書摺ノ銘ヲ記ス 彙ナルカ故
ニ銘トハ云 彙也

大鏡

是ハ橋金ノ鏡ノ大キニ屈シ
タルカ故ニサヘカ、ヤク彙ノ
大成カ故ニヨリテ其名トハ
スルナリ

ハラミ

是ハ橋金ノ四ツ角孕テ見ユ
ルカ故ニ其名トハスルモノ也

十文字

是ハ堅ニ行タル金ハ書ノ含ノ
助ケ引手ヲ助ケル金也 横へ
行タル金ハ橋金ノワリ合堅
へ行タル其金ヲ助ケツナク
ノ金ナリ其堅横打合セタ
ル中十文字ノ形ナルカ故ニ
其名トハスルモノ也

水付ノ罐

是ハ口中ノ淡水ニ付クノワ
ナルカ故ニ其名トス又 響音ノ
罐ハ引手ヲ書ノ鏡ニ付レハ
キコハナリ是ヲ番テ用レハ
其処クツロキ有テ宜キナリ

クツロクカ故ニヒ、キヲ生ス
故ニ御音ノ罐トハ号ル也世ニ
相引ノ罐ト云是也又番ノ
罐ハクツツハミノ罐ニ番カ故ニ
其名トス又カラミノ輪トハ
神社佛閣へ参詣ノトキ
手絶ヲハツシテ此罐ニカ
ラムカ故ニカラミノ輪トハ
号ル也

坪頭

是ハ引手ノ罐ヲ通スノ穴
ノカナルカ故ニ坪頭トハ云
金ニテ穴ヲ付テ物ヲ通ラヒ
キ坪ナト、云ニ等キ也地藏
頭ト云モ其先丸キト云心也
是ハ手細ヲシメ付ル上ノ方
安肉ヲキテフクル、カ故ニ
ハラミトハ云也

孕

シメ合摺留共云

是ハ手細ヲシメ付ル所也其処
ヲ安シ肉ヲヘラシテスリ留
ルカ故ニスリ留云也

細通

是ハ手細ヲ通ス処ナル故ニ云

思ヒノ坪ト云モ手細ヲ通メ
兼ルヨリメ無量ノ馬ニ無量
ノ手細ノ思ヒヲナシテ兼
ルカ故ニ思ノ坪凡云也又兼
鞆^{ツキ}ノ坪ト云モ左ノ方ノ手細
ヲ水付ト云カ故ニ左ノ手細
ヲ仕付ル穴ヲ水付トハ云也

鶴ノ脇

是ハ網通ノ坪ヨリ坪頭ヘワ
タル処ノ金ヲ指テ云也其金
ツルノス子ニ似タル故ニ其名トス

引手

是ハ都テ惣名也馬ヲ引ト
免スノモノナルカ故ニ則取テ
引金ナルカ故引手トハ云
右ヲ引手ト左ヲ水付ト云
ハ古キ文ニ出テ其例又有
カ故ニ差別ヲワカツ也

切付上切付

是ハ鞍ニ合セテ切付ルカ故
ニ其名トスル也

居木留ノ穴

是ハ居木ノ八ツノ穴へ引通

ス処へ此穴ヲ合セテ明ルカ
故ニ其名トス又通トハ肌付
ヨリ通メ切付へ通シ行モノ
ナルカ故ニ通ト緒ノ穴ト云
モリナリ

ツマベノ緒

是ハ居木へ通ストキ其サキヲ
爪ニテ引出ス緒ナルカユヘニ
ツマヘノ緒ト云也マハメニ通
スルカ故ニ爪ニテ引出ス更ト
シルヘシ居木留ノ緒ト云ハ
此緒ヲ以テ居木ニムスヒ付
ルカ故ニ其名トス

鞆通シノ穴

是ハ文字ノ心也又息出シハ
鞍下横腹ノ息モ穴アルカ
故ニヌケント云心ニテ息出
シトハ云也

亀甲

是ハ鞆通シノ穴ノ縁ヲトル
草ノ形ナリ亀ノ甲ノ如ク有
モノナル故ニ其名トス又花
形トハ其処ヲウツクシク

内玉縁

カザル故ニ其名トスル也

是ハ鞍ノカ、ツテ行凡ノ内ノ方へ繪ヤウナシテ付ルヲ指テ内玉フキトハ云其際玉ノ如クウツクシカラント云心ナリ 本書ニ落名セリ

惣廻リノ縁ヲ外玉縁ト云

是ハ切付ノホクレサルヤウニ惣へリヲトリ其処ウツクシクナス故ニ外玉フキトハ云也

野沓

是ハ鞍ニ山形アリ鑿ハ沓也

野沓トハ云也又カ草摺ト

云ハカ草其処ニカ、ツテスル、カ故ニキカラ草スレノ

金厩云也又責ト云モカ草

其金ニセメ合フ故ニ責トハ云也

押へ

是ハアトノ方ヲ打込テ其

金ヲ押へテヲク故其名トス

惣廻リヲ張草ト云

是ハ表計リ皮アルヲ張ト云
裏表ニ草ヲカクレハ包ト云
切付肌付トモニ裏ニハ草カ
ケサルモノ也切付ニハ助ケノ
草ヲカクル一モアリ故ニ表
ニハカリ草アルト云心ニテ惣
草ヲ引キ張リノ草トハ云
ナリ

肌付下切付

是ハ馬肌ニ付クカ故也付ハ

大

切付ヲツケテヨシラユル故也

又下切付トハ三牧切付ノ時

肌付ヲ下切付ト呼ト知ヘシ

三牧切付

是ハ中ノ切付ヲハ化粧障泥

ト云トハ中一牧無之ヲモ切付

肌付ニテ夏ハスムモノ也然ラ

ハ飾リニスルモノ也是障泥

ノサスヘキ処ノ中ニアルカ故

ニ其飾リニナスモノナリト

云心ニテ化粧障泥トハ号ル

モノナリ

切付ノ裏ヲ肌付 行付馬肌共云

是ハ下ヲ都テ肌付トイ、夕

ルヨシ切付ノ裏ヲ肌付ト云

トハ誤レリ又肌付トハ馬肌

ナリ馬肌ナラハ精ヲモハ取

ハ行出ルカ故ニ行付凡号ル也

下玉縁

是ハ肌付ノヘリヲ云玉縁ノ

変前ニ説リハ三味線也

大ヒレ。是ハヒライテ出タルト云心也

モノ、大ヒリクワイニ打ヒラキ

タルヲヒレト云也此処ヒライ

テ出タルカ故ニ其名トス或ハ

エミ草ト云変ハ其所也是又

出タルト云心出タルヲサシテ

エミトハ云モノ也

十文字草

是ハ肌付ノ直中ヲ横タテニ

タスケツナク草也其形ナ十

文字ノ如ナルヲ以テ号ル也

小サカリノ草或ハ腰草共云

是ハ少キユヘニコサカリノ草ト
ハ云也 肌付ノ下ヲコシ草ニテ
マトヒタルユヘ草是ヲ腰カワ
トモ云也

鞆通ヲ草

是ハ乳ノ如ク出タル草其所
へ鞆ヲ通故也

繪十シ所

是ハ蒲ノ見ユル処ヲサシテ

云カサリナキト云心也

馬糞

是ハ糞ハ敷ト云心也 馬シキト
讀セタリ

上敷

是ハ馬糞ニノコト也 鞍上ニ

息通

シクユヘ也 然レハ中古ヨリ

小淋

メ前ヲ上敷ト号ル 疔ハ已
カ氣リタルアトヲ貴人高
人へ氣スルトキニ其馬糞ハ

新ハ

己カイシキノアタリタル

中敷

処ナルカ故ニ其用捨シテ其

所ノ

草ヲハツシ 前輪ノ際

エカケテシク 疔アリ上敷

ヲノケテ手 繩ヲ置トハ

此疔也 中羊ヨリメ 前ノ方

ヲ上敷トハ云也又天辺ト云
ハ馬鬣ノ前ノ頭ナル故ニ云
コトナリ

陰ノ緒右ノカ草ヲ通ス緒ヲ云

。是ハ右ハ陰成故ニ陰ノ緒トス

陽ノ緒左ノカ草ヲ通ス緒ヲ云

。是ハ其理右ニ等キ也

小枕。是ハ女人ノ用ルカモシ枕

ノ形ニ似タルカ故ニ其名ト

ス或ハ耳ト云ハ人ノ耳ニ似

タルカ故ニ其処ヘカ草ヲ

通ス也故ニ号ルト云

息通。是ハ馬鬣ノ中ニアキタル

穴ヲサシテ云也馬ノ背ノ

息ヲヌリカ故ニ其名トス息

通ノ名ハ先代ヨリ是アルコ

中敷或兼合共云

。是ハ息通ノアトノ方真中

ナルカ故ニ其処ヲ中敷ト云

中敷ナラハ兼合トヲモフ

ヘシトノ意也

舌先

。是ハ馬ノ舌ノ如クアルモノ
ナルカ故ニ其名トス

下敷

。是ハ前ヲ上敷ト云後ヲ下
敷トハスルモノ也下ニシク

中媒ト云心ニハアラス

瓢單皮或ハ棄下共云

。是ハ馬鬣ノ惣名其形十

ヘウタンノ如クアルカ故ニ

ハセンヲサレテヘウタン皮

息通

トハ云又馬鬣ナレハ己カ棄
下成故ニ棄下ノ皮ト云也

斬

。是ハ踏テ棄ルカニスルカ故
ニカ草ト具ハ云也漢ニ斤ヲ

草ニ依ルコトハ斤ハ物ノ

軽重ヲハカル也重キ人輕

キ人凡ニコシテフシテ棄ル

ト云心ニテ斬ニ作りタル也

ワカレノ皮

。是ハカ草ノ真中ノマカリ

ヲ云下ト上へ別レテ行ク

サカヘナルカ故ニ其名トス

居木メノ皮凡云居木ヲシ

ムル故ニ其名トハスル也

カクレン皮

是ハ居木下ニナルニ寸ノ間
ヲ云也

樋

是ハ斫ノ面真中通リヲ
又不通シタルサクレヲサ
シテヒト云也 樋ハサクレミ
ソヲサシテヒト云ナリ故
ニ其名トスルコト也

クビリ。是ハ 鉸具藏ヲ取ツクル

障

請 願

マツキワノヌイメ付ノ皮
ヲサシテ云也ヌイメ付ノ皮
タルト云心ト知ルヘシ或ハ
ウテ口ト云モ斫ヲトツテ
人ヲ彙スルトキソコヲウ
テニテシメ持テノスルカユ
ヘニウテク子トハ云也

鉸具藏

是ハアブミヲカクト上古
ハイ、タル也 鐙カ、ツテ其
所ヲ上ノ皮ニラカクスカ
故ニ其丸キ皮ヲカクシノ

鐙鉤

皮トハ云也

是ハアフミヲ其穴ニカケテ
ツリ上ルカ故ニ其名トハス
ルナリ又水尾ノ穴トハ水
尾金ノ通ル故也シメ穴ト
云ハアフミノ水尾金ヲシム
ルカユヘナリ故ニシメ穴ト云
ナリ

龍頭

是ハ水尾ノ穴ノ先ニアル皮
ナルカ故ニ龍ハ水ヲツカサ
トルニヨツテ水尾ノ穴ノ先
ナラハ龍トハ云ヘシト云フ
心ニテ名ツクルナリ又鎧ハ

鞞

ト云モタコノ頭ニハ水ヲフク
ミモツモノ也水尾ノ穴ノ
先ニアル頭ナル故ニタコ頭
ト号ル也
是ハ四ツアル手ナルカ故ニ
和ニ四方手ト訓ス又鞞ニツ
ヲ緒付ト名付ル莫ハアヲリ
ノ緒鞞ニツハカリツクルカユ
ヘニ鞞ニツヲ緒付トハ云也

障泥

又左ノ後ヲ捕付ト云ハ首
取テ先付ルカ故ニ取付トハ云
右ヲ物付ト名付ル也又首
取テ付ル時ハ右ニ付ル分捕
高名シテザイ首母衣付
甲首是等ヲ則左ニ付ル
ナリ依之アトニツヲ捕付
物付トハ名ツケテアヨリ
ノ緒ハ付サル也
是ハ馬養生ノ具ニ拵ヘタル
モノ也大和ニ饒リノウチ

下敷

是ハ切付ノ下ニナル也故也
切付合セトハ切付肌付トノ
間へ行カ故ニ云又櫛上トモ
云リアフリノ時云也然ル故
ナメシニハイハス毛ニハ櫛ヲ
用ユ也依毛ノ上ナルカユニ

櫛上ト云又臺トハソレヲ初
メニサレ付テハ毛ヲウヘアラ
リノ惣体ヲ定ルユヘニ臺
氏云也

紋

下焼

是ハ此所紋ノ如クアルカ故ニ
アフリノ系ノ付所ヲモヤウ
ヲ以テ見セサルヤウニスル
カ故ニ系カクシトモ云ナリ
白眼ノ板ト云ハ目ニ付所成
カ故ニ其名トス
一ツノ穴ハ紐留ノ穴

熱四

是ホアフリノヒモヲトムル
所ナリ

ニツノ穴ハシノ合ノ穴

是ハアフリノヒモヲ付ル本

衣系

紐ノシメ合ヒノ穴也

中敷

是ハ切付ノ中へ行カ故ニ云

扇

ナリ

鉸具摺

是ハアフリノアタル処ヲ云

ナリ

ウキツメ

是ハアフリヲ取ルニ打廻ス処ナリ
ユヘニ其名トス

毛アマリ

是ハ皮ヨリ先へ出タル毛ヲ云也

縁ヒレ

是ハ下ニ出タル丸モノナタレヨ云
ナリ

汗流

是ハ後ノ方ノ鑿ニサカル処ヲ云
ナリ馬ノ汗滴リ其処へ流ル

ニヅ

故ニ露ナカレトモ汗ヲ露ニナ
ソラへテツユナカレトハ云也

惣廻リノ草

是ハ露受ノ草ト云へリ汗外へ

ウケ流カユヘニ露トハ云フ也

鞅

是ハ面ニカクルユヘナリ押カケ
ト惣名目置時前ノ如ク云

へシニ蓋ト惣名目ヲ云トキハ

面蓋ト云へシ漢ニ鞅ニ作ル也

又羈ニ作ル也

野引

是ハホウライノ髪ノ後ニカ
ルカユヘナリ山ノ裾ハ野ナリ

野ニ引カリルカユヘニ野引トハ

云フ

筭懸

是ハ頭ニカクルト云フ交ナリ
冠懸ト云モ右ノ理ニヒトシキ
ナリ然レトモ前ノ方ヲ冠懸
ト云フト知ヘシ

陽之糸。是ハ前ノ頭へ廻ル面連ヲ云也

陰之糸。是ハ後ノ筭懸へ廻ル方ヲ云也

面連。是ハヲモテヘツリカ、ル系ナ
ルカユヘニ其名トハスルモノ也

組違。是ハ三方ヘリミ違故也

小紐或月之尾共云ヘニ是ハ三ヶ月骨ヲ廻ル系ナルカ

露

故ニ其名トハスルモノ也
是ハツブ子ヨシホリトア
ルト云フ心ナリヤイハルカ

待留ノ穴

是ハ小緒待通スト云心ナリ

コツボハ此ツボト云心ナリ

取締

是ハ小紐ヲ取付ルユヘナリ

蛇口

是ハ繩ノフナヲハ惣体蛇
口ト云也繩ハ蛇ニ似タルカ
故ニ其名トス

大紐

是ハ總ヲ云ナリ

唐カラミ

是ハ組違ヨリ六寸ノ間ヲ

キテ云フコト也古来ハ面

懸ヲ直ニ唐ニトリ付タル

故ニ其名トス

菊根

是ハ菊ノ花ノ根ノ如クニウ

ツクシクアルト云心也

總

是ハ乱レタル糸ヲ云化粧ノ

フサアソビノフサトハ總ナ

クテモアリナシト云フ心ニ

テシルスナリ

朝

是ハ大和ニムナカケムナカイ
ト記ス其文字ノ心前ニ説

